

文教・警察常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成26年1月22日（水）～23日（木）

2 調査の概要

1月22日（水）

（1）秋田県議会（秋田県秋田市）

調査事項：学力向上に係る取組について

本県では、本年度の全国学力・学習状況調査の結果、多くの教科が全国平均を下回ったことから、児童生徒の学力向上に係る取組を強化することが課題となっている。

秋田県は、調査が始まった平成19年度以降、常に全国平均を大きく上回っており、本年度についても全ての教科においてトップレベルの結果を得ている。基礎学力の定着と向上を図るため、少人数学習推進事業、県独自の学習状況調査、授業研究、学校改善支援など、一人一人へのきめ細かな指導や継続的な検証改善サイクルの確立に努めるとともに、児童生徒の生活習慣や家庭での学習習慣を重視するなど、教育関係者はもとより、家庭や地域の協力の下、「教育立県あきた」を目指した取組が県民一丸となって進められている。

このことから、本県における今後の取組の参考とするため、学力向上に係る秋田県の取組について調査を行った。



1月23日（木）

（2）秋田市立明德小学校（秋田県秋田市）

調査事項：学力向上に係る取組について

本県では、児童生徒の学力向上に係る取組を強化することが課題となっており、学校現場においては、児童生徒が学習の基本となる学びの姿勢や態度を身につけること、教員が授業改善や一人一人の課題に応じた指導に取り組むことなどが求められている。

秋田県の公立学校は、本年度の全国学力・学習状況調査の結果によると、全国平均と比べて、望ましい生活習慣および学習習慣を身につけている児童生徒の割合が高く、

補充的な学習などの児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導が行われている割合が高い。また、家庭学習の課題の与え方について校内の教職員で共通理解を図っている割合が高く、調査結果をもとに教育指導の改善に取り組んだ割合が高いなど、学校全体で組織的に学力向上に係る取組がなされている。

秋田市立明德小学校は、本年度の秋田市の課題研究推進校となっており、「確かな学力の育成」をテーマに課題研究が進められ、学力向上に係る取組に特に力を入れている学校である。

このことから、本県における今後の取組の参考とするため、同校の授業の様態を視察するとともに、学力向上に係る学校の取組について調査を行った。

